

6月の園だより

史上最長の10連休

いよいよ令和の幕が明けました。過去経験したことのない史上最長の10連休！！旅行や趣味を満喫するなど、連休の過ごし方は様ざまだったと思います。「10連休うれしくない」「どう過ごしているのか、わからない」という声や、「勤務があるのに保育園は休み」「新学期が始まったばかりでリズムが崩れる」など不安の声も聞かれました。とはいえ、普段忙しくて子どもに接する時間がとれないご家庭にとっては、公園で遊んだり家でしっかり触れ合ったりなどゆったりした時間をとるチャンスとなったのではないのでしょうか？

そうした中、休日保育みみょうプラザでは、市内各地域より保育が必要な子どもたちが集まっていますが、普段とは違う環境の中で連休を共に過ごし、子どもたちの順応性の高さ、適応性に富んでいる様子を垣間見ることができました。

令和の時代は、より個性を重視する時代になるといわれています。これはみみょうグループの保育方針でもある“一人ひとりの良いところを認め、しっかり伸ばしていく”と重なってもいます。

実質9連休の市の対応策としての一時預かりは予想に反し38名、休日保育は215名でした。

多くの子どもを預かる上で、情緒や体調面、初めての場所での集団生活の不安など、保護者のみなさんと確認する時間を費やすとともに、完全給食ということもあり、特にアレルギーの対応など“大切な命を預かる”ことを念頭に安全面に配慮しています。楽しい雰囲気の中でおいしい温かい給食をいただくことは、休日保育の中で大切にしていることのひとつです。

休日子どもたちは、園庭で遊ぶことが大すきです。「いつもの保育園より園庭が広いから、ここに来たがるんですね。」「たくさんの経験をさせていただいてありがとうございます。」など、嬉しいお言葉もいただいています。のぼり棒に雲梯、鉄棒にぶらんこ…。私たちは普段から親しんでいる遊具ですが、いろいろな園の子どもたちが群れて遊ぶといつもと違った風景がみられます。

先日、帰りの親子の会話の中で「きょう、めっちゃたのしかったんよお。」「○と△と□がねえ…。」「あしたはなにするんかねえ。」話は終わりません。ずっと続くわが子の言葉に耳を傾け「そうなの？それで？」とにこにこしながら聞いているお母さん。そんな姿を見ながら、今日も子どもたちが楽しく過ごせたことを嬉しく思いました。

オレンジ帽子がトレードマークの休日みみょうプラザの子どもたち。現代美術館やマックスバリュのイベントに参加したり、町たんけんや比治山散策に出かけたりする中で地域の人にも声をかけていただく機会が増えてきました。年齢の垣根を超えて異年齢の子どもたちが一緒に遊んで、食べて、くっついて寝るというアットホームな雰囲気を大事に、これからもたくさんの体験を重ね、驚きや発見・喜びを感じながら、共に大きくなっていくよう、温かく楽しい活動をしっかり提供していきたいと思えます。

休日みみょうプラザセンター長

